

経営者への活きた言葉

貿易赤字は定着した 野口悠紀雄(早稲田大学ファイナンス総合研究所顧問)

1. 平成 23年4月の貿易収支は4637億円の赤字となった。昨年4月は7292億円の黒字だったので、1兆2000億円ほど赤字が拡大したことになる。その数字は、日本経済に大きな構造変化が生じていることをはっきりと示している。
4月の貿易収支が赤字となった主原因は輸出の減少である。特に自動車の落ち込みが激しい。
2. 他方で、いまだ本格的には顕在化していないが、今後の貿易収支を悪化させる要因がある。それは、原子力発電から火力発電へのシフトによって、LNGなどの発電用燃料の輸入が増加することだ。東京電力では、これによって燃料費の増加が年間 7000億円から1兆円程度に上るとしている。日本全体では輸入が年間2兆～3兆円程度増える可能性がある。
以上を考えると、貿易赤字を早期に克服するのは難しい。むしろ、貿易赤字は定着したと考えるべきだ。
3. 「日本のモノづくりが強い」と言われたが、それは原子力発電の本来のコストを顕在化させず、安いコストで使用していたからだ。そのため、日本の製造業は、実力以上の価格競争力を持ったのだ。つまり、これまでの貿易立国は、原子力発電という踏み台に乗ったものだった、それに気づいた今、無理してベッドを長くすることはやめにして、膝を曲げてベッドに合わせる努力をするべきだろう。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2011年 6月11日号)

ワンポイント経営アドバイス

町役場の職場理念 佐藤克男(北海道森町町長)

1. 企業には経営理念があります。これは企業がなぜ存在するかを示す大切なものです。
私が町長就任し最初にやったのは役場の職場理念をつかって仕事の指針を明らかにすることでした。
森町は正職員、臨時職員併せて500人の大所帯です。
私は朝礼の場を設けてこれらを唱和させることを始めました。
2. ①我々は、森町職員として町民サービスを第一義として、日々勤めます。
②我々は、公務員のモットーである公僕の心得を遵守して、励行します。
③我々は、森町職員として、仕事を通じて社会に貢献し、自己啓発に勉めます。

(参考:「致知」:2011年8月号)